

平成27年度「小中高一貫教育」修了証書授与式

2月29日（月）、本校体育館において「平成27年度小中高一貫教育修了証書授与式」が行われました。スライドショー上映後、前・中・後期の修了生に修了証書の授与が行われ、続いて各期の代表が決意表明を述べました。本校は修了証書を授与されたのは橋本みらいさん、決意表明は崎山晃弘君が行いました。最後に修了生全員で記念写真の撮影を行いました。



修了証書授与される橋本みらいさん



決意表明の崎山晃弘君

— 決 意 表 明 —

この小中高一貫教育が始まって今年で早8年が経ちました。小中高一貫教育が始まったのは、我々高校3年生が小学4年生のときでした。前期のリーダーからのスタートということで、不安もありましたが、リーダーの自覚をもって遠足や人権集会などの行事に取り組んでいたのを覚えています。そして、小中高一貫教育の後期の課程では、人権集会で中学生、高校生が共に楽しく有意義に活動できるよう私達を中心となり、リーダーシップを発揮してきました。また、歓迎遠足では、高校生が中心となり中学の生徒会役員と協力して運営を行いました。歓迎行事を進める上で小学校低学年の皆さんにしっかりと理解してもらい、楽しいものになるように伝え方等を工夫するなどし、成功に導くことが出来ました。こういった小中高一貫教育は、他の学校ではあまり経験ができない取り組みです。小学生から高校生までが一緒になって、遊んだり、学習したりすることは、とても珍しく、貴重な体験です。私達はこの小中高一貫教育を通して、相手に応じた対応をする力が身についたと思います。また、学年の違う人達と共に活動してきた中で様々な年齢の人達をまとめる力も身についたと思います。

私達高校3年生は今日で小中高一貫教育の後期の課程を終え、さらに3月1日には卒業を迎えます。12人全員がこの小値賀町を離れ、それぞれの、また新たな夢に向かい、進んでいきます。今までの小中高一貫教育の中で育んだ豊かな心と、強い絆で、これから人生を歩んでいく中で何度となく突き当たるであろう壁も乗り越えていきます。今まで、学校の先生方をはじめ、地域の方々の大きな支えがあり、私達は学び、そして成長することができました。これからも、支えて下さった方々に対する感謝の気持ちを胸に、一生懸命頑張っていきます。本当に今までありがとうございました。

後期代表 崎山 晃弘